I-7

美術館の写真投稿に関する研究
- Instagram の投稿写真分析を通して -
A Study on Pictures in Art Museums
-Through Posted Contribution Pictures by Instagram -

○黒田陽二郎[1]，　堀切梨奈子[2]，　佐藤慎也[2]
*Yojiro Kuroda[1], Rinako Horikiri[2], Shinya Satoh[2]

This study, to collect photographic data of Instagram is a social media, were classified. Then, it was classified the museum based on the data. Shooting propriety of the exhibition room and the relationship of each museum, from the point of view, such as the number of visitors, whether the museum of the data on the Museum of Art and social media as a reality is what relationship, were discussed.By considering the relationship with the Museum of the actual situation, data on social media is what can be viewed the relationship that you are changed with respect to the actual situation. They are considered to be the material of the future of the museum plan.

1. 序
1-1. 研究背景

近年、美術館は美術分野に関心が高い層のみに留まらず、一般層に広く知ってもらおうとする活動が増えつつある。その活動のひとつとして、写真撮影可能エリアを意図的に設け、鑑賞者に対して作品を写真に収めることを可能としている美術館が少なくない。これには、写真に特化したソーシャルメディアの普及やスマートフォンのカメラ機能向上など、様々な要因があるだろう。その中でも金沢 21 世紀美術館は、市民が触れやすいアートを有料ではない場所に常設し、ソーシャルメディア上を賑わせている。また、森美術館でも展示室内を撮影可能とし、美術館側から SNS 上への投稿を呼びかける案内板を掲げている。そうした中で、ソーシャルメディア上に人々が投稿するデータは、市民の興味や関心の集合体であり、これらを分析することは美術館計画や運営に対して有用であると考えられる。

1-2. 研究目的

本研究では、ソーシャルメディア上にある美術館に関するデータを分析することで、美術館ごとの特徴を明らかにすることを目的とする。

2. ソーシャルメディアデータと研究方法
2-1. ソーシャルメディアデータ

本研究では、写真に特化したソーシャルメディアである Instagram 上の写真データを分析する。Instagram は、投稿者が写真を投稿するときにタグをつけることが可能である。それらは、検索機能によって、タグのついた写真を一覧で閲覧することができる。本研究では、各美術館名のハッシュタグによって検索された写真を収集する。

2-2. 研究方法

本研究では、Instagram で各美術館名を用いたハッシュタグ検索によって抽出した写真を収集し、分類する。分類した写真を、入館者数 *[1]、有料展示室外の作品の有無などを文献調査や実地調査によって調べ、その結果と合わせて、美術館ごとの特徴を考察する。

2-3. 写真分類方法

写真分類方法は以下表 1 の 3 分類とする。

表 1　写真の分類方法

分類方法	説明
建築	建物の外観と内観
作品	作品
テキスト	チケット、ポスター

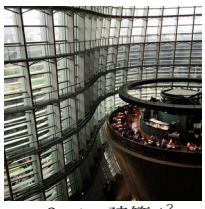
fig.1　建築 *[2]

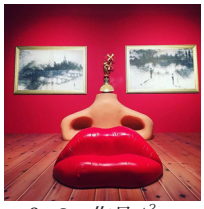
fig.2　作品 *[2]

fig.3　テキスト *[2]

3. 調査対象と写真投稿件数

本研究の調査対象は、国立美術館と、投稿件数が 900 件以上の公立美術館を調査対象とする。以下、調査対象、主体、竣工年順と共に写真投稿件数を表 2 に示す。

表 2　調査対象

主体	NO.	美術館名	竣工年	写真投稿件数（件）			
				総数	建築	作品	テキスト
国立	1	国立西洋美術館	1959	1133	123	305	387
	2	東京国立近代美術館	1969	607	65	233	144
	3	京都国立近代美術館	1986	395	21	48	181
	4	国立国際美術館	2004	950	218	149	309
	5	国立新美術館	2006	7809	2532	524	1777
公立	6	東京都美術館	1975	1477	123	309	576
	7	横浜美術館	1988	1583	170	678	212
	8	東京都現代美術館	1994	4290	244	2222	462
	9	豊田市美術館	1995	2179	669	504	277
	10	霧島アートの森	1999	1941	66	1143	39
	11	松本市美術館	2002	943	38	609	53
	12	金沢 21 世紀美術館	2004	5191	534	3299	315
	13	青森県立美術館	2005	1436	309	558	220
	14	十和田市現代美術館	2008	1755	65	1075	19

1：日大理工・院（前）・建築　2：日大理工・教員・建築

4. 考察

4-1. 入館者数と写真総数の関係

2015 年度入館者数の 1 ～ 3 位までの入館者数は 4 位以下と比較して非常に多い（表３）。それに伴って、写真投稿件数も多いが、最も入館者数が多かった東京都美術館は、投稿数が 11 館中 6 位であった。また、入館者数に対して投稿数の割合が高かったのは豊田市美術館であった。このことから、入館者数と投稿数が比例していないことがわかる。

4-2. 写真分類の件数によるタイプ分け

最も多い写真分類によって美術館を建築タイプ、作品タイプ、テキストタイプの３分類に分けた（表４）。美術館ごとの類似性を見るため、さらに写真分類タイプ件数の多少の関係性より、A ～ F に分類した。

4-3. 作品の重要性

建築タイプ A と B を比較すると、建築写真の次に作品写真が多かった A は有料展示室外の作品が有り、加えて常設展示の撮影も可能であった。作品タイプ D に比べて、全体的に作品の割合が高い作品タイプ C は、有料展示室外作品有りの割合も高かった。またテキストタイプ E に比べて、作品の割合が高いテキストタイプ F も同様の理由と考えられる。有料展示室外の作品の有無がソーシャルメディア上でのデータに深く関係していると考えられる。

5. 結論とまとめ

今後、美術館を考えていく上で、ソーシャルメディアの存在は無視できないだろう。4-1 の入館者数と投稿数が比例関係にないことから、ただ単に入館者数を増やせば、より多くの人がソーシャルメディアに投稿するとは限らない。SNS 時代が今後の美術館のあり方を変えていく中で、ソーシャルメディア上で多く投稿が集まっている美術館のメカニズムを把握することは重要である。

また今回の研究では、美術館の投稿数や美術館の写真分類の多少関係によって、美術館のタイプ分けを行った。これは美術館同士のソーシャルメディア上での相関関係を示すものである。今回の研究では「展示室内の撮影可否」や「有料展示室外の作品有無」といった実態の美術館との関係性と考えることによって、ソーシャルメディア上でのデータがその実態に対してどう変化しているかという関係性を見ることができた。それらは今後の美術館計画の材料となると考えられる。

表３　入館者数と投稿件数の関係

順位	美術館名	2015 年度入館者数 (人)	投稿数の割合（写真投稿 / 入館者）
1	東京都美術館	2,970,184	0.00050
2	金沢 21 世紀美術館	2,372,821	0.00219
3	国立新美術館	2,292,330	0.00341
4	国立西洋美術館	627,014	0.00181
5	横浜美術館	533,750	0.00297
6	東京都現代美術館	408,952	0.01049
7	東京国立近代美術館	330,580	0.00184
8	京都国立近代美術館	261,789	0.00151
9	青森県立美術館	169,643	0.00846
10	豊田市美術館	99,060	0.02200
11	松本市美術館	45,897	0.02055

【注釈】

1) 入館者数は [1] を参照、掲載されてないものは美術館ごとの報告書参照。

2)Instagram アカウント @pooh.shan,@a__miii,@raimuzabizabi より引用。

【参考文献】

[1] 月刊アートコレクターズ ArtCllectors', 生活の友社 ,2016,10

[2]bitecho 創造力を社会に生かすアートニュースサイト , http://bitecho.me/2015/08/23_274.html,2016 年 9 月 15 日アクセス

表４　タイプ分け

タイプ		関係性	美術館名	総数に対する割合 (%)			有料展示室外の作品の有無	展示室内撮影	
				建築	作品	テキスト		可否	撮影可否の補足
建築タイプ	A	建築＞作品＞テキスト	豊田市美術館	31	23	13	○	○	可（常設展示作品）
	B	建築＞テキスト＞作品	国立新美術館	32	7	23	×	×	不可
作品タイプ	C	作品＞建築＞テキスト	金沢 21 世紀美術館	10	64	6	○	○	可（案内板に可能ゾーン掲示）
			十和田市現代美術館	4	61	1	○	×	不可 (展覧会、企画ごとにルールが異なる)
			霧島アートの森	3	59	2	○	×	不可
			青森県立美術館	22	39	15	×	△	不可 (一部可能)
	D	作品＞テキスト＞建築	松本市美術館	4	65	6	○	×	不可
			東京都現代美術館	6	52	11	×	○	可
			横浜美術館	11	43	13	×	○	可（コレクション展、グランドギャラリー）
			東京国立近代美術館	11	38	24	×	○	可（常設展示作品）
テキストタイプ	E	テキスト＞建築＞作品	国立国際美術館	23	16	33	×	×	不可
	F	テキスト＞作品＞建築	国立西洋美術館	11	27	34	○	○	可（常設展示作品）
			東京都美術館	8	21	39	○	×	不可
			京都国立近代美術館	5	12	46	×	○	可（常設展示作品）